

第2版はしがき

本書の初版が2015年5月に刊行されて以来、4年近くが経過しようとしている。この間、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の面では、社外取締役制度の全面的導入に向けた法制上・実務上の動き等、従来からの方向性をさらに進捗させる傾向が顕著である。もちろん会社法分野の全体にわたって、新たな判例の出現による会社法の継続的形成にも目配りする必要がある。加えて、2017年には民法の債権法分野を中心とする大改正が国会で可決され、2020年4月に施行が予定されているところである。この改正に連動して、会社法上も、たとえば詐欺的な組織再編や事業譲渡に関する新機軸の法改正が導入される等の変化が生じている。本書においても、これら幾多の新たな展開に対応すべく、第2版による改訂の作業を行うこととした次第である。併せて、本書の初版刊行時にも明言したとおり、本書の執筆者相互間ひいては各章の記述相互間にも緊密な連携関係を確保するため、クロスリファレンスの工夫等をより一層、推し進めることにも努めたつもりである。こうした改訂を進めるなかで、各執筆者の協働態勢に基づく本書の内容的な進化が遂げられていけば、この上ない喜びである。

本書の改訂作業については、初版刊行時から丹念に執筆者間の連絡調整や編集上の諸事全般にわたってお世話いただいていた法律文化社編集部の梶原有美子氏に、改めて心よりお礼申し上げたいと思う。

2019年2月

執筆者を代表して

菊地 雄介